

ワクチン接種 万全の準備を コロナ対策で緊急要望(第10次)



かまた城行
通信

発行
鎌田城行事務所
〒980-0004青葉区
宮町4丁目8-15
電話Fax 222-0895
公明党仙台市議団
電話 214-8718
Fax 711-3454



宮城県と仙台市は、5月11日で重点措置が解除され、県市独自の緊急事態宣言を31日まで継続するとともに、12日より「リバウンド防止徹底期間」が新たに設定されました。
公明党仙台市議団は5月12日、コロナ対策の第10次緊急要望を行いました。希望する全市民が短

期間に接種する一大事業の本格実施を前に、21項目にわたり万全の対応を求めました。

「リバウンド防止徹底期間」の4つの柱

- ① 基本的感染対策の徹底
- ② 感染再拡大の早期探知
- ③ 感染症対策の認証制度の新設
- ④ ワクチン接種の加速化

◆ 主な要望項目

▽ 明確な接種計画
▽ 休日等の集団接種会場の拡充
▽ ワクチンの安全性や副反応等への留意点
▽ 大きな文字で簡潔明



お知らせ

緊急事態宣言「リバウンド防止徹底期間」は5月末まで。コロナ禍の収束へ向け改めてご協力をお願い致します。

瞭な案内文書
▽ ナビダイヤルの中止
▽ 万全な予約体制
▽ キャンセル待ち接種(仮称)
「ワクチンバンク」設置
▽ 予約票の事前送付、接種会場のアドバイザー職員配備
▽ 会場への輸送支援と訪問接種
▽ 障がい者等の情報保障
▽ 会場のバリアフリー等
▽ ペットの待機所
▽ 留学生等への先行予約
▽ 接種後の経過観察
▽ 大規模接種センターの活用
▽ 住民票所在地以外での接種
▽ 民間企業と連携した検査センター開設
▽ 各種支援事業の再延長要請
▽ (仮称)「GOT O理美容」クーポン事業等創設
▽ シトラスリボンプロジェクトの参画

託作から市民の手
さりから作られた
市れ

シトラスリボンを贈呈 「心ひとつに乗り越えて」

鎌田城行議員のもと
に、青葉区内にお住まい
の方から「コロナ禍から
感染者や医療従事者への



市民から託された230個余のシトラス
リボンを市長、健康福祉局長に手渡す(右
から) 嶋中貴志副議長と鎌田城行市議

偏見や差別をなくした
い、との運動に共感して
私もリボンを作りまし
た。市民の命を守るため
に活用してください」と
真心のこもる手作りのシ
トラスリボンが託されま
した。

5月12日の第10次緊急

※シトラスリボン ※プロジェクト ※とは



要望の後、郡市長と加藤
健康福祉局長に、この思
いを届けました。

市長からは、「心を込
めて作られた素敵なりボ
ン

プロジェクトへの参画と市民啓発を求めました

公明党仙台市議団は、
第10次緊急要望の中で、
「本市姉妹都市・宇和島
町を有する愛媛県の有志
グループ『ちよびつと1
9+』が進め長野県や松
島町などの自治体や市内
の小学校、事業所等に賛
同と推進の輪が広がって
いる『シトラスリボンプ
ロジェクト』に本市も参
画し、普及啓発に努める
こと」を求めました。

誰もが感染リスクのあ
る中、たとえ感染しても
地域の中で笑顔の暮らし
を取り戻せることの大切
さを伝え、感染された方
や医療従事
者がそれぞ
れの暮らし
の場で「た
だいま」「お
かえり」と
受け入れら
れ、偏見や
差別、誹謗

中傷の無い思いやり暮ら
ししやすい社会を目指そう
と、愛媛県の市民有志か
ら始まった運動です。

柑橘をイメージしたシ
トラスカラーのリボンや
ひもなどを使って、「地
域」「家庭」「職場や学
校」を3つの輪になぞら
えて結んだリボン。身に
着けたり人の目に触れる
場所に掲示して共感の輪
を広げる運動です。